



平成 20 年 7 月 29 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 6 号

クリード・オフィス投資法人

代表者名 執行役員 山中 秀哉
(コード番号：8983)

資産運用会社名

クリード・リート・アドバイザーズ株式会社

代表者名 代表取締役社長 山中 秀哉

問合せ先 取締役財務部長 砥綿 久喜

TEL. 03-3539-5943

運用資産の資産区分に関するお知らせ

クリード・オフィス投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、現在保有している運用資産の資産区分について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 概要

本投資法人は現在、運用ガイドラインにおけるポートフォリオ構築方針の一環として、各物件をタイプAとタイプBに分類して管理しております。

本投資法人では、本日までに全ての物件を見直した結果、物件の潜在能力を十分に発揮できる運用状況に至ったとして、従来はタイプAに分類しておりました物件のうち、2 物件を別紙の通りタイプBに変更することを決定しましたので、ご報告致します。

（資産区分）

タイプA：一定の収益力は発揮できているが、その収益力に向上余地がある物件

タイプB：リニューアル工事等により、その潜在能力を十分に発揮できている物件

なお、当該資産区分につきましては、各物件のリニューアル工事の実施の程度、経済環境・不動産市況等の変化等を踏まえ、資産運用会社であるクリード・リート・アドバイザーズ株式会社の判断により、適宜変更することがございます。

（注）「運用ガイドライン」の変更につきましては、平成 19 年 11 月 1 日付で公表いたしました「資産運用会社の社内規程（運用ガイドライン）の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

<添付資料>

資産区分

※ 本資料の配布先：兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

※ 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.creed-office.co.jp>



< 変 更 後 >

〔資産区分〕

2008 年 7 月 29 日時点

タイプ A		タイプ B	
A-01	COI 新橋ビル	A-02	COI 西参道ビル
A-04	MTC ビル	A-05	COI 東日本橋ビル
A-07	COI 南平台ビル	A-12	COI 聖坂ビル
A-09	COI 日本橋本町ビル	A-13	COI 平河町ビル
A-10	アンフィニ赤坂	A-14	COI 新橋ウェストビル
A-18	COI 渋谷神山町ビル	A-17	銀座轟ビル
A-19	COI 赤坂五丁目ビル	B-03	BENEX S-2
A-20	COI 芝園橋ビル	B-04	COI 国立ビル
A-21	COI 恵比寿西ビル	B-08	COI 本郷ビル
A-22	COI 銀座 612	B-10	テクノス中野ビル
A-23	フィエスタ渋谷	B-11	COI 永代ビル
A-24	COI 内神田ビル	B-12	COI 横須賀ベイサイドビル
A-25	COI 九段南ビル	D-01	仙台一番町ビル
A-26	COI 四谷四丁目ビル	D-02	COI 広島紙屋町ビル
A-27	COI 赤坂溜池ビル	D-03	COI 名駅ビル
A-28	DSM 神保町ビル	D-05	エルセントロ札幌
A-29	DSM 日本橋蛸殻町ビル	E-01	富山駅西ビル
A-30	TK 九段ビル	E-02	第百・みらい信金ビル
A-31	NE 九段ビル	E-03	カーニープレイス佐賀
B-01	COI 五反田ビル	E-05	カーニープレイス金沢駅前
B-02	ブルク大森		
B-05	パゴダ浅草		
B-06	COI 南池袋ビル		
B-07	REGALO ビル		
B-09	レスポアール 296		
B-13	千歳ビル		
B-14	ルート池袋ビル		
B-15	西五反田アクセス		
B-16	TK 吉祥寺ビル		
C-01	COI 四ツ橋ビル		
C-02	アスパイア 7 番館		
C-03	茨木恒和ビル		
D-04	COI 名古屋プラザビル		
D-06	COI 仙台中央ビル		
D-07	ソロンけやき通りビル		
D-08	大名バルコニー		
D-09	CRD 丸の内		
E-04	COI 那覇ビル		
E-06	COI 高松ビル		
E-07	東京生命・日本興亜富山ビル		
E-08	秋田山王 21 ビル		
E-09	新潟三井物産ビル		
	計 42 物件		
			計 20 物件
		今回追加分	
		A-03 A-08	COI 六本木ビル ジョワレ半蔵門
			計 2 物件
			合計 22 物件